学術論文作成法（一）（2単位）

担当者氏名　戸枝　一喜、丹羽　光一、中澤　洋三

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

研究者や技術者は、研究成果を学術雑誌に発表したり、学会やシンポジウムで発表や講演することが不可欠である。国内だけでなく、海外の雑誌・学会での発表が強く要求されている。本講義では、まず学術論文に必要な簡潔で明快な文章を作成できるようになるため、基本的かつ実践的な日本語の文法について講義する。また英語の論文の読解と作成に慣れ、事実を客観的に他に伝える能力を身につけるため、英語論文を題材として読解と発表を行ってもらう。
到達目標：学術雑誌に投稿できる原稿の作成法が習得できる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）　ご自身のキーワードを記入してください

文法　　学術論文の構成　　論文の作成

◆授業の進行等について

	テ　ー　マ	内　　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学術論文と文法	分かりやすい文章1　破格を避ける	配布資料を予習しておくこと（1時間）
2		分かりやすい文章2　修飾する語の順番	配布資料を予習しておくこと（1時間）
3		分かりやすい文章3　テンの打ち方	配布資料を予習しておくこと（1時間）
4		分かりやすい文章4　漢字の持つ意味	配布資料を予習しておくこと（1時間）
5		理系の文章の特徴	要旨の起承転結を身につける（1時間）
6	学術論文の構成	科学論文とは（1）　論文　タイトル　序論	配布資料を予習しておくこと（1時間）
7		科学論文とは（2）　要約・方法とは	配布資料を予習しておくこと（1時間）
8		科学論文とは（3）　結果・討論	配布資料を予習しておくこと（1時間）
9		論文の書き方（1）　演習　タイトル作成	配布資料を予習しておくこと（1時間）
10		論文の書き方（2）　演習　要旨作成	配布資料を予習しておくこと（1時間）
11	要旨の書き方（1）	要旨の成り立ち・構成を学ぶ	要旨の起承転結を身につける（1時間）
12	要旨の書き方（2）	演習：Wordの便利な使い方を解説する	パソコンを持参する（復習1時間）
13	図表の作り方・見せ方（1）	演習：Excel、PowerPointの便利な使い方を解説する	パソコンを持参する（復習1時間）
14	図表の作り方・見せ方（2）	演習：便利なフリーソフト（BioEdit、MarvinSketch、UCSF Chimera）の紹介と使い方を解説する	パソコンを持参する（復習1時間）
15	図表の作り方・見せ方（3）	演習：自身の研究内容のレジメを作成する	パソコンを持参する（復習1時間）

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）
書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等
書名／著者／発行所（発行年）

日本語の作文技術／本田勝一／朝日文庫（1982）、世界に通じる科学英語論文の書き方／B・A・デイ他／丸善出版（2010）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業への参加態度を50%、発表と討論を50%として評価する。

◆オフィスアワー

随時(各教員に問い合わせてから)

◆その他受講上の注意事項

予め質問を用意するなど積極的に授業に臨み、自学自習も大切にすること。